

デパ地下の学校袋（Schultüte シュールテューテ）



トンガリ帽子のような大小の円錐形。



学校袋の資材コーナー。



出来合いの学校袋も。

ドイツの百貨店の地階には、文房具売り場があります。私が行った、どこの百貨店もそうでした。

一方、日本の百貨店の地下には、たいてい食料品売り場があります。デパ地下グルメという言葉があるくらいですから。

日本の百貨店の文房具売り場は、たいてい、6階とか7階とか、高いフロアにあります。ひっそり、セレクトされたものばかりです。高級品扱いです。

そういう印象があったので、ドイツで文房具を見るために、地階に降り行くのは、驚きでした。

新学期直前でしたが、新学期準備の品揃えをまだまだ観察できました。が、
と言うのは、新学期直前まで文房具を買い物しているような家庭は少数派なのだそうです。ドイツの新学期セールのはじめは8月上旬から中旬まで。その期間にゆっくり選んで揃えるのですね。



このトンガリ帽子のような円錐形が、かの有名な、学校袋です。

入学のお祝いに両親と祖父母とが、1年生になる子どもにプレゼントするのだそうです。これを持って、子どもは入学式に行くとか。

学校袋の中には、主に文房具が入っていました。そのほかには、小さいおもちゃやお菓子も入っていました。

以前は、円錐形の部分からオリジナルで作り、中に思い思いの品を入れて、子どもには中に何が入っているのかを見えないようにしたものが主流だったそうです。子どもは、学校で開けるのが楽しみだったでしょうね。

今は、学校袋資材セットもあり、出来合いの詰め合わせセットもあり。プレゼントする側の時間具合と懐具合とで、お祝いの表現を選べるようになったようです。

地下鉄の売店横にも、学校袋の詰め合わせセットが売っていましたから、多忙な方も、間に合わせられます！